

## 平成28年度学校評価の集計結果及び分析

## 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

各学校・園の学校評価から市全体を分析し、結果を関係各課において共有するとともに、学校・園への学校経営に関する指導及び支援を効果的に行うため。

## (2) 調査仕様

## 調査対象

各学校(園)の学校評議員、児童・生徒(小学校4年以上)、保護者及び教職員

	幼稚園	小学校	中学校	合計
学校評議員	31人 (100.0%)	426人 (95.1%)	172人 (91.5%)	629人 (94.3%)
保護者	497人 (95.0%)	24,702人 (81.3%)	11,952人 (72.7%)	37,151人 (78.4%)
児童・生徒		21,428人 (98.1%)	16,490人 (94.7%)	37,918人 (96.6%)
教職員	70人 (100.0%)	2,512人 (95.4%)	1,301人 (90.5%)	3,883人 (93.8%)

( )内は回収率

## 調査方法

学校(園)経由で調査票を配布・回収

## 調査期間

平成28年12月～平成29年1月

## 調査内容

ア 共通項目 14項目(幼稚園:13項目)

イ 学校独自項目 3項目程度

共通項目一覧

「H28年度」 徳・知・体の調和のとれた人づくりのための学校教育の推進(小・中学校用)

1 徳・知・体の調和のとれた教育の推進	豊かな心をはぐくむ 教育の推進	1 一人一人の児童生徒の尊重	評	学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていると思いますか。
			保	学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていると思いますか。
			子	先生方は、みなさん一人一人の気持ちを考えて接してくれていますか。
			教	学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていると思いますか。
		2 友達への思いやり	評	子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。
			保	お子さんは、友だちとなかよくしていると思いますか。
			子	あなたは、友だちとなかよくしていますか。
			教	子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。
		3 道徳・心の教育の充実	評	学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)
	保		学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)	
	子			
	教		学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)	
	豊かな学力を育む 教育の推進	4 意欲的な学習態度	評	子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。
			保	お子さんは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。
			子	あなたは、すすんで授業を受けていますか。
			教	子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。
		5 授業力向上	評	先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。
			保	先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。
			子	授業は、わかりやすく楽しいですか。
			教	先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。
		6 ICT活用	評	先生方は、コンピュータやデジタルテレビなどのICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。
保			先生方は、コンピュータやデジタルテレビなどのICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。	
子			先生方は、コンピュータやデジタルテレビなどのICT機器を使ったわかりやすい授業をしていると思いますか。	
教			先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。	
体を健やかに育む 教育の推進	7 健康づくり	評		
		保	お子さんは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。	
		子	あなたは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していますか。	
		教	子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。	
2 子ども一人ひとりの教育の推進を大切にする	8 児童生徒理解	評	先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。	
		保	先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。	
		子	先生方は、あなたのことをよくわかってくれていると思いますか。	
		教	先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。	
	9 いじめや問題への対応	評		
		保	学校では、いじめや問題があったときすぐに対応してくれていると思いますか。	
		子	先生方は、いじめや問題があったときよく話を聞いてくれますか。	
	10 学校の支援体制	評	学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	
		保	学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	
		子		
3 安全で良好な教育環境の整備	11 安全と事故防止	評	学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	
		保	学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	
		子	あなたは、事故防止などの安全に気をつけて行動していますか。	
		教	学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	
	12 施設・設備の安全管理	評	学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。	
		保	学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。	
		子	学校の教室やろうか、トイレ、運動場などは、安全で使いやすいと思いますか。	
		教	学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。	
	13 教育方針・目標の理解	評	学校は、学校の教育方針や教育目標などをわかりやすく示していると思いますか。	
		保	学校は、家庭に学校の教育方針や教育目標をわかりやすく示していると思いますか。	
		子	あなたは、学校のめあてや目標がわかっていますか。	
		教	学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。	
	14 家庭や地域との連携協力	評	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。	
		保	先生方は、保護者とよく連携をとって教育活動を進めていると思いますか。	
子				
教		学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。		

「H28年度」 徳・知・体の調和のとれた人づくりのための幼稚園教育の推進（幼稚園用）

1 徳・知・体の調和のとれた教育の推進	豊かな心を大きくむ 教育の推進	1 一人一人の園児の尊重	評	幼稚園は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていますか。
			保	幼稚園は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていますか。
			教	幼稚園は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていますか。
		2 友達への思いやり	評	子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。
			保	お子さんは、友だちとなかよくしていると思いますか。
			教	子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。
		3 道徳・心の教育の充実	評	幼稚園は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）
			保	幼稚園は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）
			教	幼稚園は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）
	確かな学力を育む 教育の推進	4 意欲的な活動	評	子どもは、自分の思いを十分に出し意欲的に活動していると思いますか。
			保	お子さんは、自分の思いを十分に出し意欲的に活動していると思いますか。
			教	子どもは、自分の思いを十分に出し意欲的に活動していると思いますか。
		5 遊びや生活の充実	評	先生方は、子どもの遊びや生活の充実に努めていると思いますか。
			保	先生方は、子どもの遊びや生活の充実に努めていると思いますか。
			教	先生方は、子どもの遊びや生活の充実に努めていると思いますか。
	6 ICT活用	評		
		保		
		教		
むな 推 進 育 の 育 か	7 健康づくり	評		
		保	お子さんは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。	
		教	子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。	
2 子ども一人ひとりの教育の推進を大切にす	8 児童生徒理解	評	先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。	
		保	先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。	
		教	先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。	
	9 いじめや問題への対応	評		
		保	幼稚園では、いじめの問題があったとき、すぐに対応してくれていると思いますか。	
		教	幼稚園では、いじめの問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。	
	10 幼稚園の支援体制	評	幼稚園は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	
		保	幼稚園は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	
		教	幼稚園は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	
	3 安全で良好な教育環境の整備	11 安全と事故防止	評	幼稚園は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。
保			幼稚園は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	
教			幼稚園は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	
12 施設・設備の安全管理		評	幼稚園の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。	
		保	幼稚園の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。	
		教	幼稚園の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。	
13 家庭や地域との連携協力		13 教育方針・目標の理解	評	幼稚園は、家庭に園の教育方針や教育目標などをわかりやすく示していると思いますか。
			保	幼稚園は、家庭に幼稚園の教育方針や教育目標をわかりやすく示していると思いますか。
			教	幼稚園は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。
		14 家庭や地域との連携協力	評	幼稚園は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。
			保	先生方は、保護者とよく連携をとって教育活動を進めていると思いますか。
			教	幼稚園は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

## 2 小中学校の結果及び分析

- 1 枠囲みの割合は、肯定的な回答（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」）の割合を合計したもの
- 2 割合は、100分の1%の値を四捨五入しているため、合計した値において±0.1%の誤差が生じる場合がある。

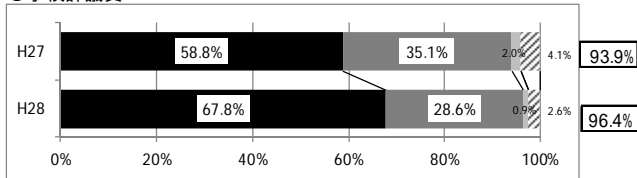
### (1) 徳・知・体の調和のとれた教育の推進 豊かな心をはぐくむ教育の推進

#### 項目1 一人一人の児童生徒の尊重 【人権教育指導室】

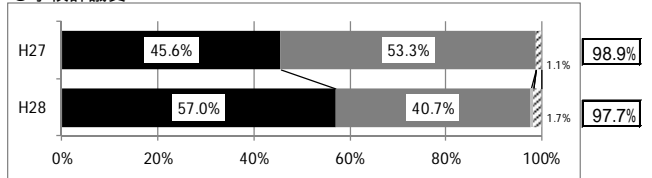
学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

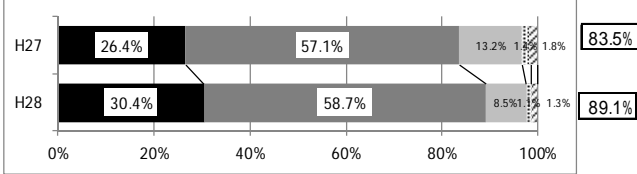
[小学校]  
○学校評議員



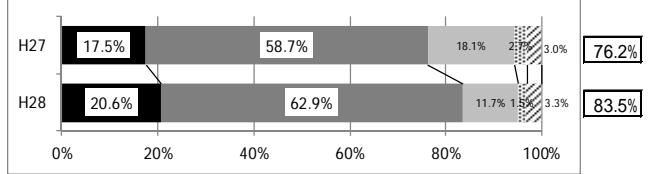
[中学校]  
○学校評議員



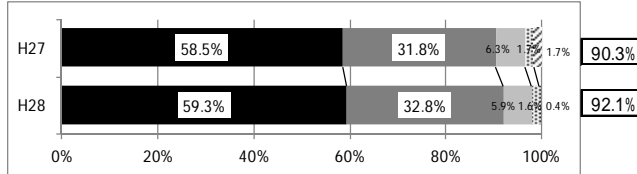
○保護者



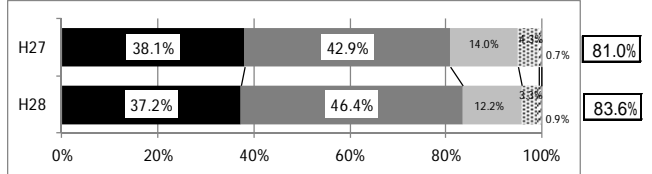
○保護者



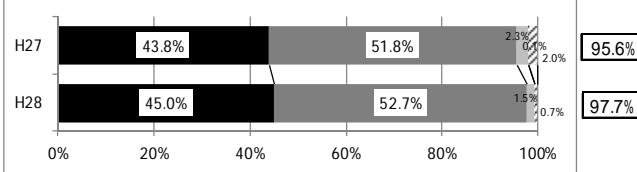
○児童



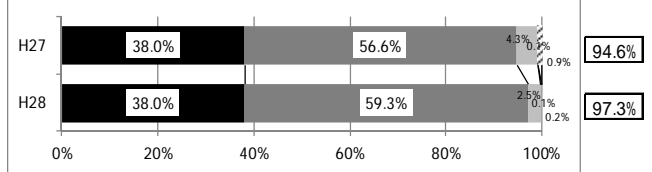
○生徒



○教職員



○教職員



#### [分析]

中学校の学校評議員以外は、小学校、中学校ともに肯定的な回答の割合が上がっている。特に、保護者の割合が高くなっており、小学校で5.6%、中学校で7.3%上昇している。児童生徒に関しても、小学校で1.8%、中学校で2.6%の上昇、教職員は小学校で2.1%、中学校で2.7%の上昇が見られる。各小中学校での一人一人の存在や思いを大切にされた学力保障の取組、互いの良さや可能性を認め、ともに高まり合う仲間づくり、あたたかい言語環境等の環境づくりが丁寧になされているところが増えてきた成果だと考える。

しかしながら、無回答率については昨年度とあまり変化がない。特に中学校の学校評議員と保護者は少しずつではあるが増えている。(学校評議員0.6%、保護者0.3%)

この結果に安心することなく、さらに、子どもたちの生活背景等の理解に努め、保護者の願いや思いに寄り添いながら、一人一人の子どもが大切にされていると実感することができるように教職員のかかわりを深めていく必要がある。

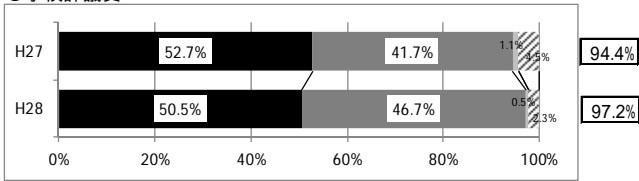
## 項目2 友達への思いやり 【人権教育指導室】

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

■ 4-そう思う □ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

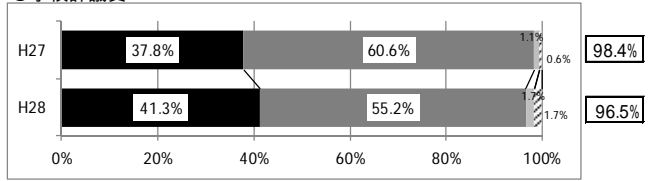
〔小学校〕

○学校評議員

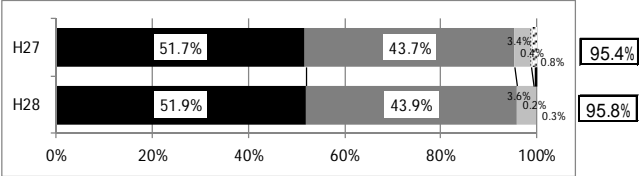


〔中学校〕

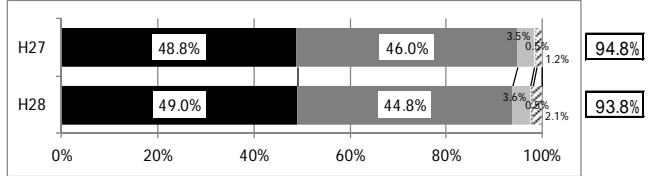
○学校評議員



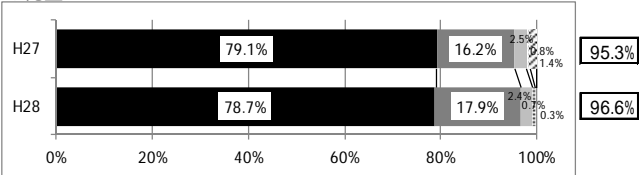
○保護者



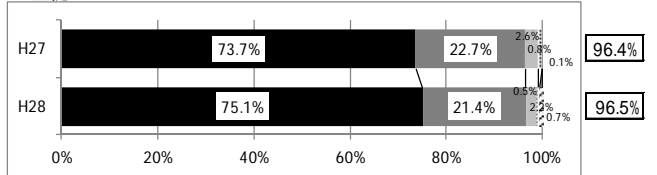
○保護者



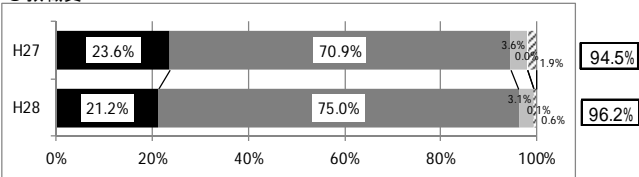
○児童



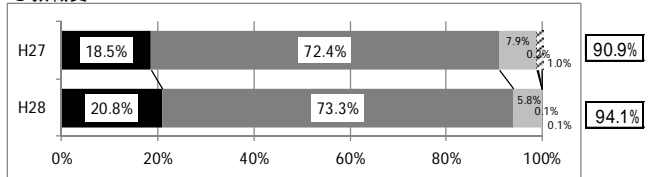
○生徒



○教職員



○教職員



〔分析〕

「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」という肯定的な評価の割合が、児童で1.3%、生徒で0.1%上昇しているところに、学校現場での取組の成果がうかがえる。一方で、中学校の学校評議員が2.9%、保護者が1.0%下降していることには留意が必要である。理由について、各学校での詳細な分析と対応を検討してほしい。

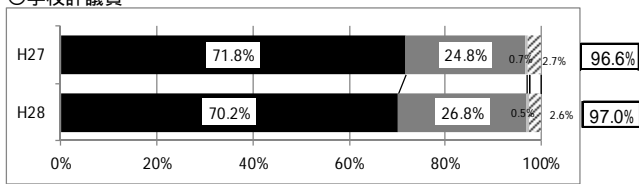
また、中学校において、「無回答」の割合が、学校評議員で0.9%、保護者で0.9%、生徒で0.6%上昇している。「なかよくしている」状態は数値化が困難な面もある。発表形式の行事等を参観してもらうだけでは不十分である。定期的に、普段の授業をはじめ日常の姿を見てもらう機会を増やしたり、効果的な情報発信を行ったりする等さらに工夫していく必要がある。

### 項目3 道徳・心の教育の充実 【指導課】

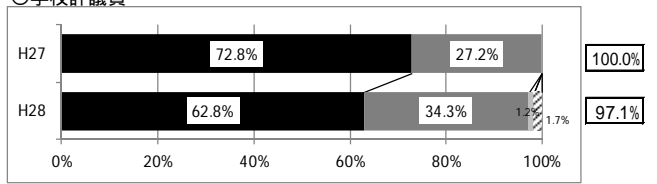
学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

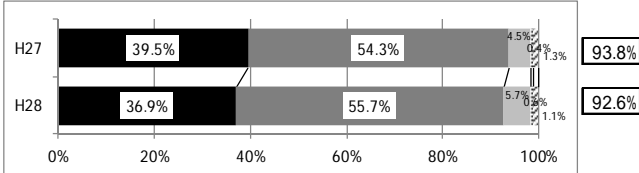
【小学校】  
○学校評議員



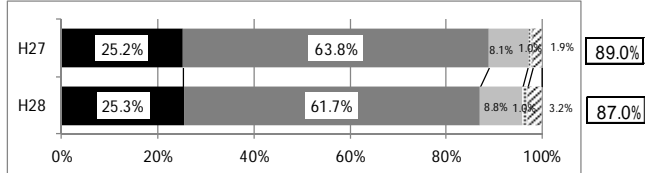
【中学校】  
○学校評議員



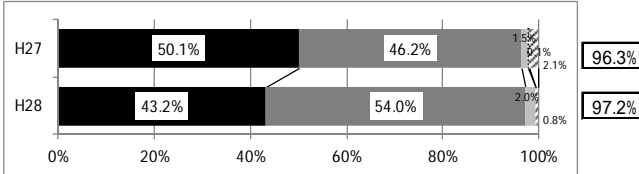
○保護者



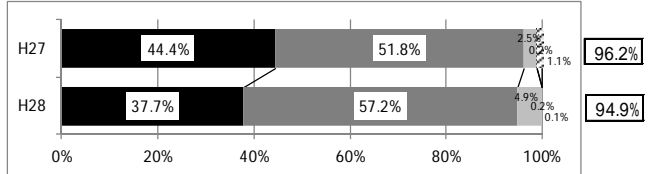
○保護者



○教職員



○教職員



#### 〔分析〕

小中学校における心の教育については、学校評議員、保護者及び教職員のいずれからも高い評価を得ており、一定の理解が得られているものと思われる。

一方、学校評議員及び教職員に比べると、保護者の「そう思う」の割合が低いことから、保護者は、心の教育の充実にさらに求めているものと思われる。

小学校の教職員は、肯定的な回答の割合が95%を越え、中学校の教職員も、ほぼ95%であることから、道徳授業や心の教育に力を入れていることが分かる。

今後は、小中学校では、心の教育の取り組みについて、引き続き保護者や家庭へ発信し、地域も含めた連携を深め理解を得るようにしていくことが必要であり、教育委員会では、地域や家庭、学校の連携を深めるため、「心がやけ月間」や「親子道徳の日」の充実に支援していく必要がある。

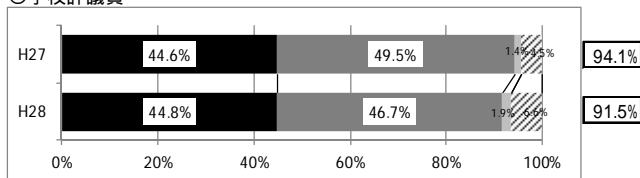
# 確かな学力を育む教育の推進

## 項目 4 意欲的な学習態度 【指導課】

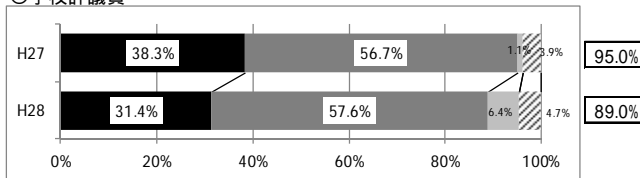
子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない 〇 1-そう思わない ☒ 無回答

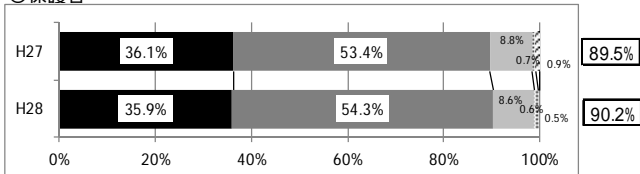
【小学校】  
○学校評議員



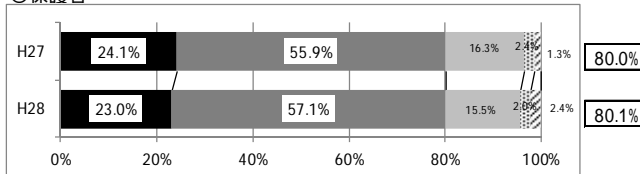
【中学校】  
○学校評議員



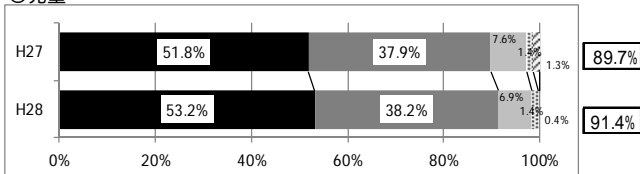
○保護者



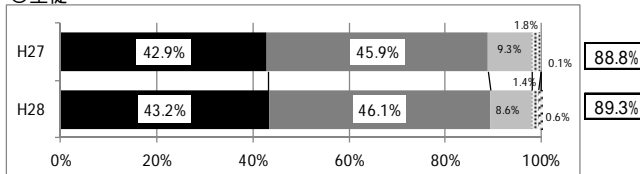
○保護者



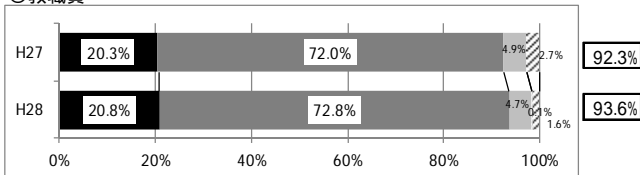
○児童



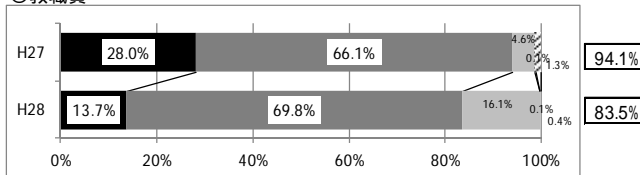
○生徒



○教職員



○教職員



### 〔分析〕

小学校においては、肯定的な意見がすべてにおいて90%を越えており、全体的に意欲的な学習状況であるといえる。それに対して中学校においては、すべてにおいて肯定的な意見が90%を下回っており、「学習意欲の2極化」の傾向がさらに強まっていると考えられる。特に中学校教職員においては「そう思う」の割合が前年度の半分以下まで低下していることから、中学校における生徒が楽しみや分かる喜びを持って意欲的に参加できる授業づくりが急務であると考えられる。

また、中学校保護者の約20%が否定的な回答もしくは無回答であり、学校評議員の「そう思う」の割合も低下していることから、学校として、授業参観の機会を増やしたり、家庭学習を工夫したりするなど、家庭・地域と連携した学習意欲向上策を工夫する必要がある。また、生徒が意欲的に学習したくなるような授業づくりの支援を、学校訪問や教科主任会等を通して行っていかなければならない。

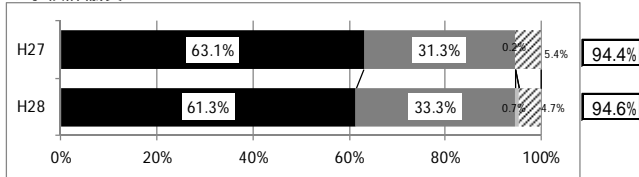
## 項目5 授業力向上 【指導課】

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない ▨ 1-そう思わない ▩ 無回答

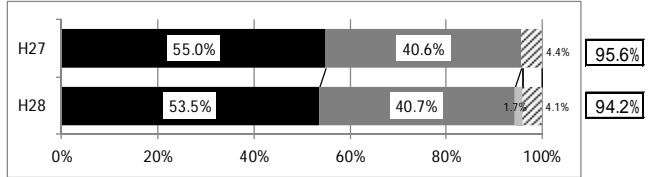
【小学校】

○学校評議員

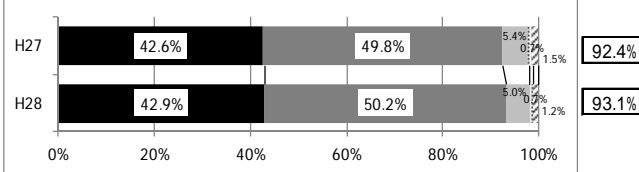


【中学校】

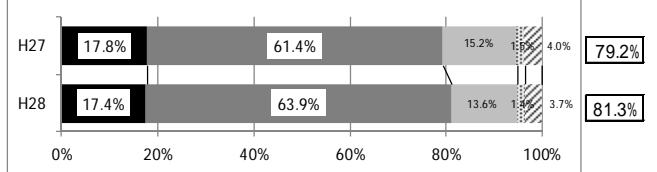
○学校評議員



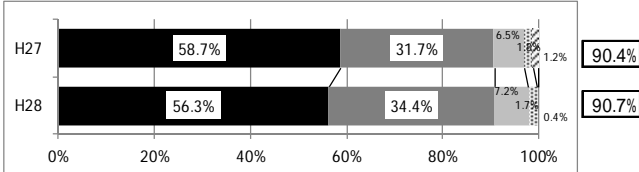
○保護者



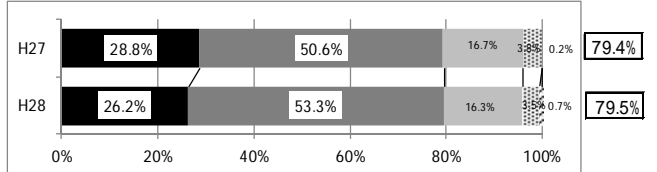
○保護者



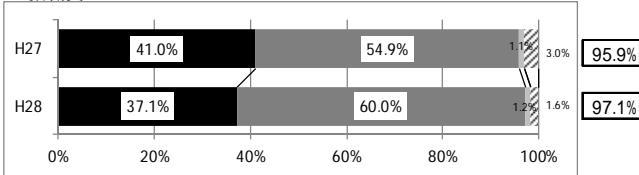
○児童



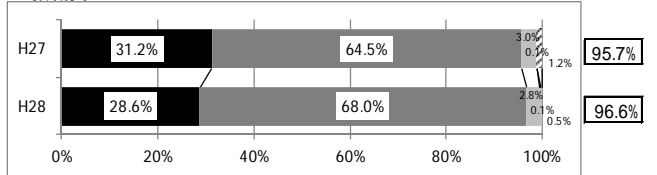
○生徒



○教職員



○教職員



### 〔分析〕

小学校においては学校評議員・児童・保護者・教職員のすべてにおいて肯定的な意見の割合が90%を越え、さらに前年度を上回っていることから、教職員が授業の改善に継続的に取り組んだ成果が児童にも伝わっていることがわかる。

一方、中学校においては「そう思う」の割合がすべてにおいて前年度を下回っていることから、中学校においては、よりわかる授業、楽しい授業づくりが望まれるところである。

また、小・中学校ともに、保護者、児童・生徒の回答では、肯定的な意見が教職員に比べて低く、わかりやすいと実感できていない児童生徒がいることから、教職員は、児童生徒の実態を把握し、教材研究に取り組むとともに、ICT機器の活用や学習活動の工夫等、授業の改善に一層取り組み、子どもたちが学習の成果を実感できるような授業づくりをしていく必要がある。



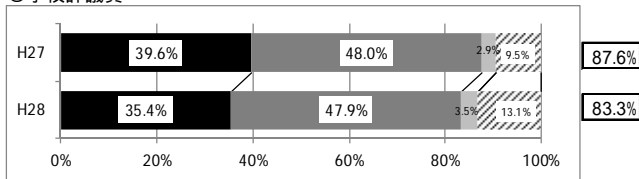
## 項目6 ICT活用【教育センター】

先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。

■4-そう思う ■3-どちらかといえば、そう思う □2-どちらかといえば、そう思わない 図1-そう思わない 図2-無回答

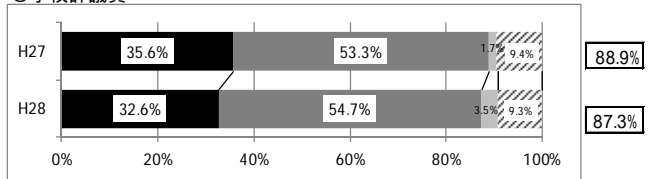
〔小学校〕

○学校評議員

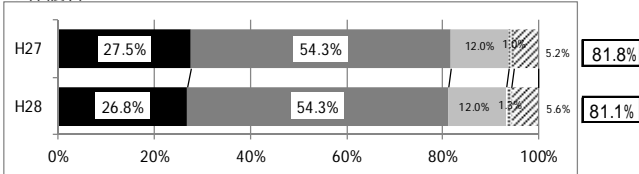


〔中学校〕

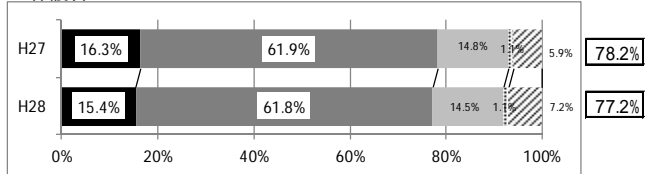
○学校評議員



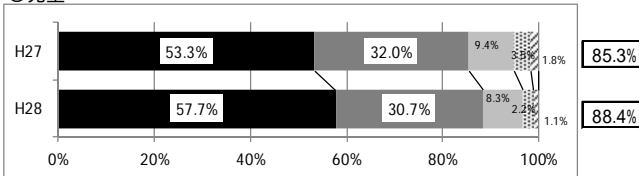
○保護者



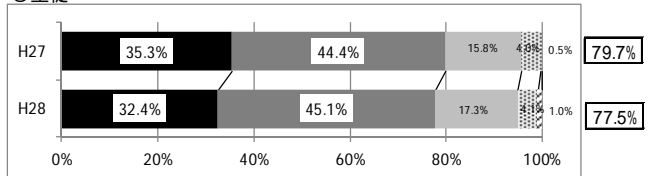
○保護者



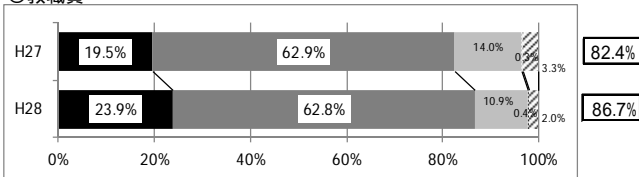
○児童



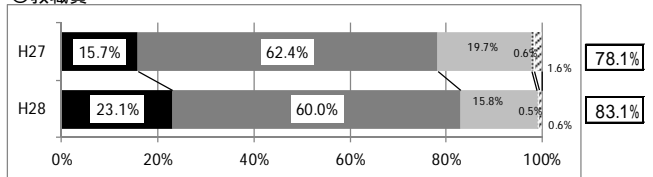
○生徒



○教職員



○教職員



〔分析〕

教職員については、小学校及び中学校ともに80%以上が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」といった肯定的な回答をしている。研修や支援の充実と合わせて、教育の情報化モデル校や指定校の取組と成果が波及している結果だと考える。

小学校児童は、H27とH28を比較すると肯定的な評価のポイントが伸びていることから、ICTを活用した授業がわかりやすいと感じている児童が増加していると受け取ることができる。しかし、中学校生徒の肯定的な回答のポイントは下がっており、教職員との意識にずれが見られる。この点から、生徒は、教師がICTを活用して教材等を提示することだけに留まらず、生徒自身がICTを活用することで「わかりやすい」と感じる授業を望んでいるのではないかと考えることができる。今後は、教職員のICT活用と併せて、児童生徒がICTを活用する授業づくりを推進する必要がある。

保護者と学校評議員については、小学校及び中学校とも80%近くの肯定的な回答が得られており、学校がICT機器を活用して、わかりやすい授業づくりに努めていることが評価されている。しかし、前年度よりも肯定的な評価のポイントが下がっていることから、積極的に授業参観やHP、学校(学級)だより等で、保護者や地域へ広報する必要がある。

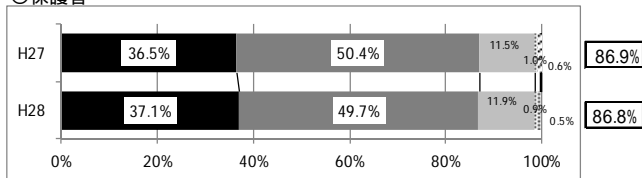
## 健やかな体を育む教育の推進

### 項目7 健康づくり 【健康教育課】

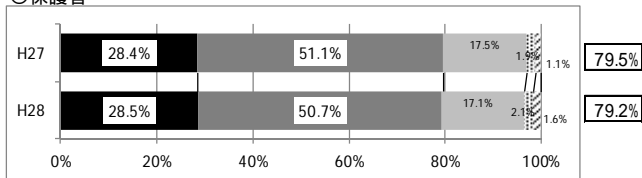
子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない ☒ 無回答

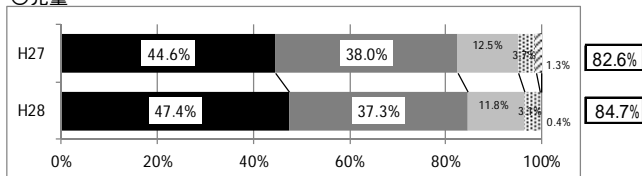
〔小学校〕  
○保護者



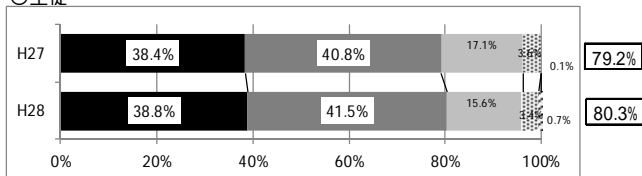
〔中学校〕  
○保護者



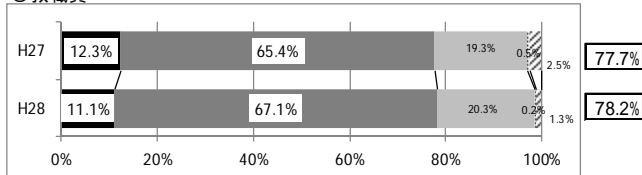
○児童



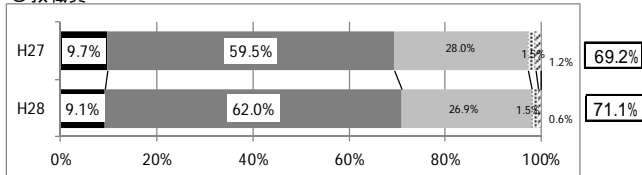
○生徒



○教職員



○教職員



#### 〔分析〕

児童生徒の望ましい生活習慣の状況について「そう思う」あるいは「どちらかといえば、そう思う」と答えた割合が概ね増加傾向にあり、望ましい生活習慣の育成に向け、学校と家庭が連携して取り組んできた成果が現れてきていることが伺える。

一方で、「そう思う」と答えた教職員の割合が依然として低いことから、学校が更に連携を深めながら取り組みを進め、心身ともに健康な児童生徒の育成を図っていくことが必要である。

(2) 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進  
いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

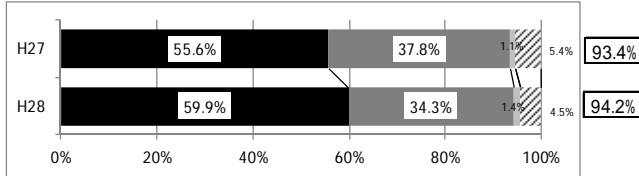
項目8 児童生徒理解 【総合支援課】

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない 〇 1-そう思わない 〇 無回答

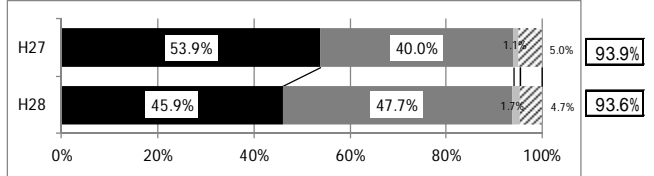
【小学校】

○学校評議員

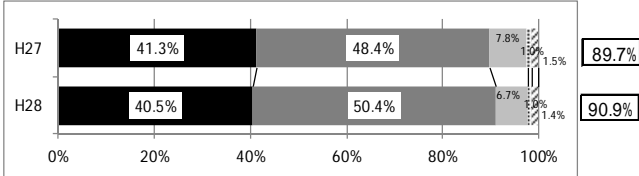


【中学校】

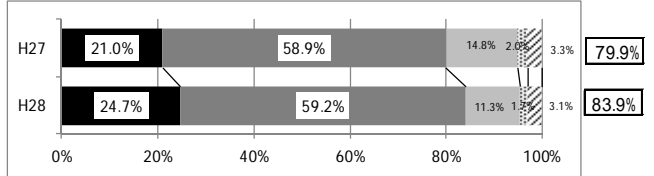
○学校評議員



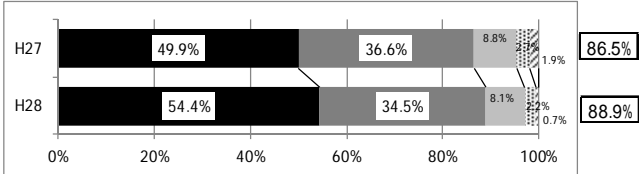
○保護者



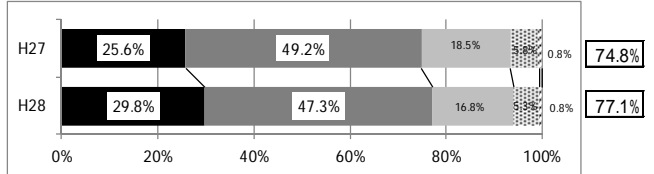
○保護者



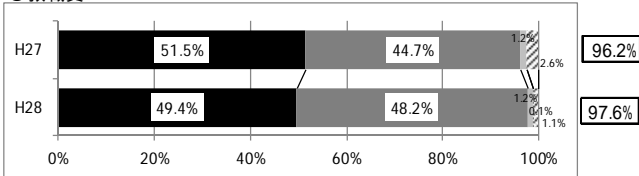
○児童



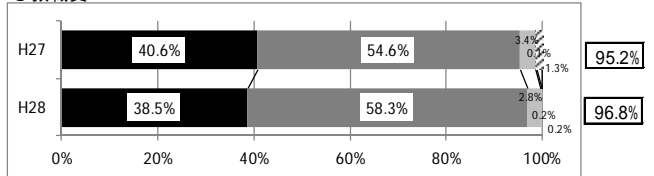
○生徒



○教職員



○教職員



〔分析〕

学校評議員及び教職員や小学校保護者については90%を上回り、概ね高い評価を得ている。

一方、児童・生徒及び中学校保護者の肯定的な回答の割合は、昨年よりは高くなったものの学校評議員と教職員、小学校保護者に比べて低い状況にある。

教職員は、今後も引き続き、子どものよさを引き出し、それを生かす教育活動を通して、児童生徒の理解に努める必要がある。

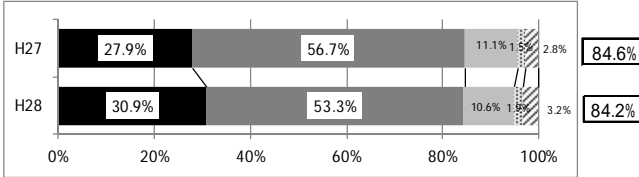
## 項目9 いじめや問題への対応 【総合支援課】

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

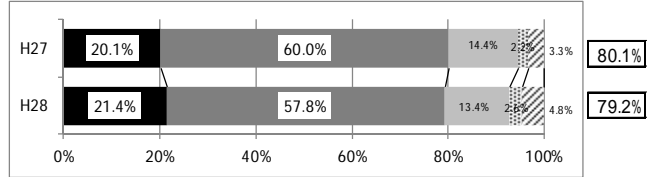
【小学校】

○保護者

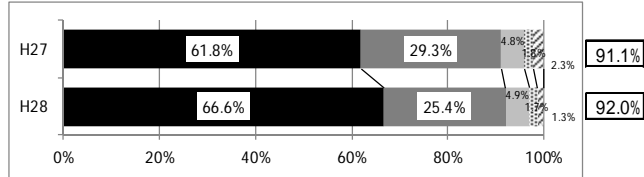


【中学校】

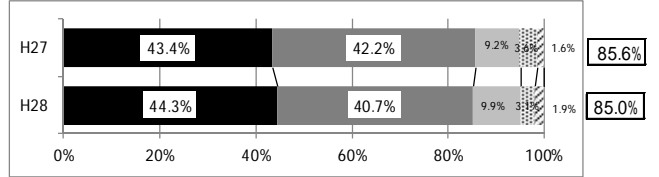
○保護者



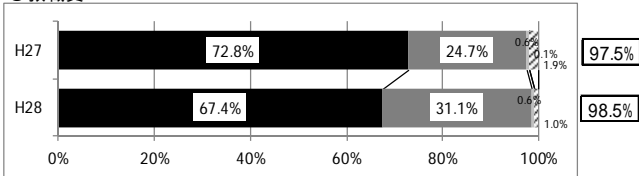
○児童



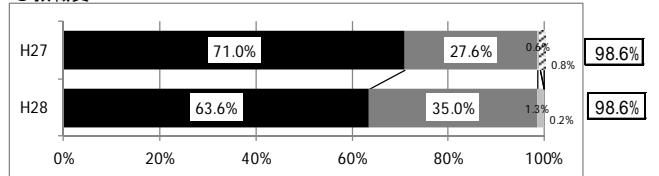
○生徒



○教職員



○教職員



〔分析〕

「そう思う」の回答の割合は、保護者が小学校で30%、中学校では20%程度、児童生徒が40%～60%程度の低い評価結果である。これに対して教職員は小中学校ともに約60%を超えており、保護者の回答と比較すると約30%～40%の格差がある。

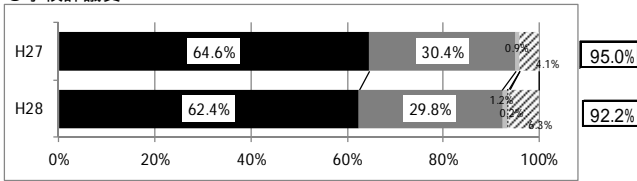
このことから児童及び生徒に対しては、日ごろから些細な変化を見逃さず、適切に関わりを持ち対応できるよう、学校の体制づくりをさらに整えていく必要がある。また、学校は保護者・地域と連携し一体となって取り組むために、学校での取り組みを積極的に保護者や地域に広報する必要がある。

## 項目10 学校の支援体制 【総合支援課】

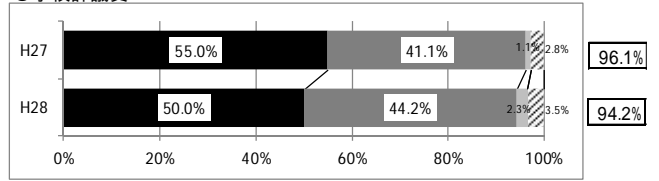
学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

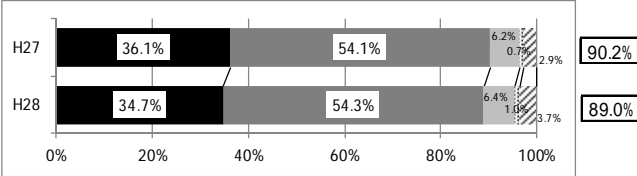
〔小学校〕  
○学校評議員



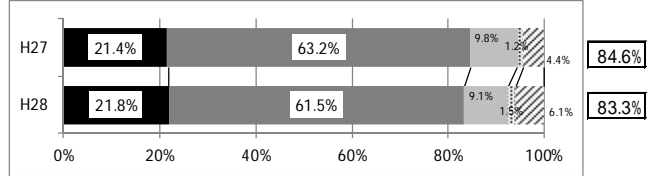
〔中学校〕  
○学校評議員



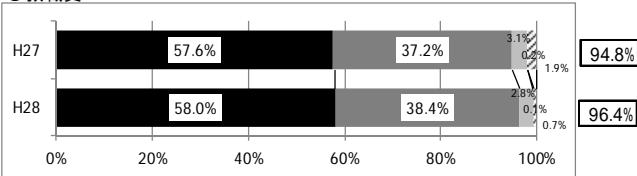
○保護者



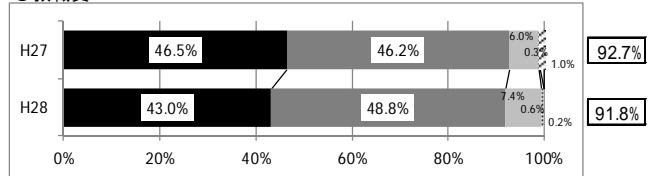
○保護者



○教職員



○教職員



### 〔分析〕

昨年度と比較して肯定的な回答の割合が若干下がってはいるが、学校の校内支援等の取り組みは、概ね高い評価をされている。

ただ、小学校の保護者の約10%、中学校の保護者の約15%が学校の取り組みに課題があると回答、または無回答となっている。この結果を受け、学校ごとに課題を分析し、改善を図るとともに、今後も引き続き、保護者等に対して、「支援を必要とする子どもの教育」の理解・啓発を図る。また、対象児童生徒への適切な対応、保護者と連携した支援等、これまでの取り組みをさらに充実していく必要がある。

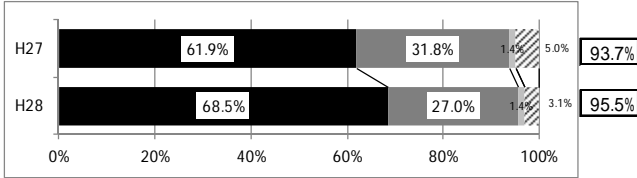
(3) 安全で良好な教育環境の整備  
子どもたちの身近な安全対策の充実

項目11 安全と事故防止 【健康教育課】

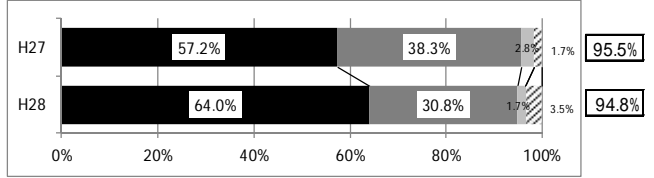
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない ☒ 無回答

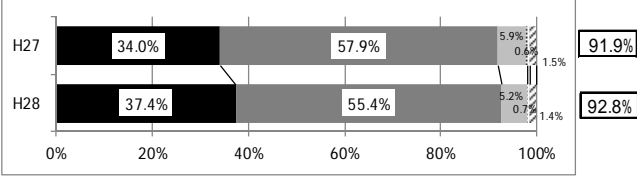
〔小学校〕  
○学校評議員



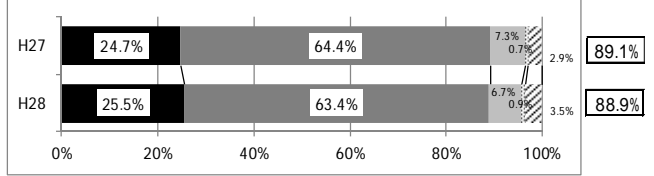
〔中学校〕  
○学校評議員



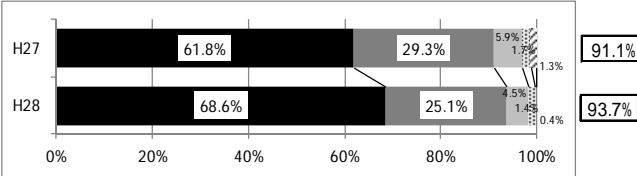
○保護者



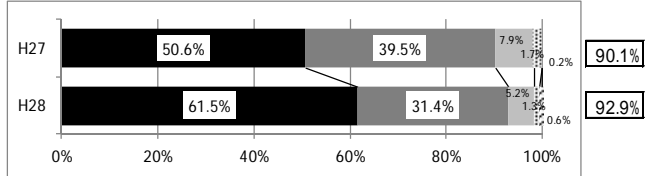
○保護者



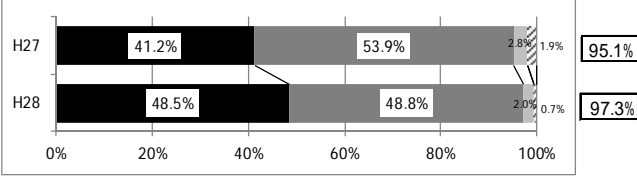
○児童



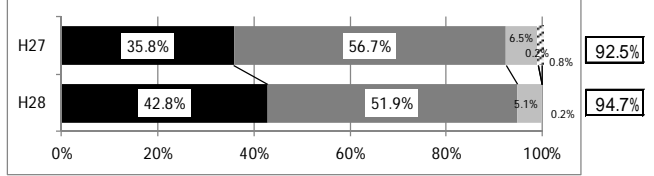
○生徒



○教職員



○教職員



〔分析〕

「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と答えた方の割合がいずれも高率で推移しており、各学校での安全教育の取り組みが認知されていることが伺える。

今後は、熊本地震の経験を踏まえた安全教育を進めていくことが必要であり、各学校の「学校安全計画」の見直しを進めるとともに、学校安全教育研修会等の開催を通して「自分の命は自分で守る」ことのできる児童生徒の育成を図っていく。

# 最適な学習環境の整備

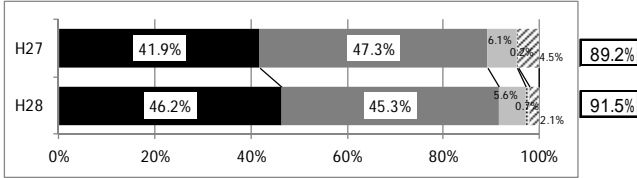
## 項目 1 2 施設・設備の安全管理 【施設課】

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

■ 4- そう思う ■ 3- どちらかといえば、そう思う □ 2- どちらかといえば、そう思わない □ 1- そう思わない □ 無回答

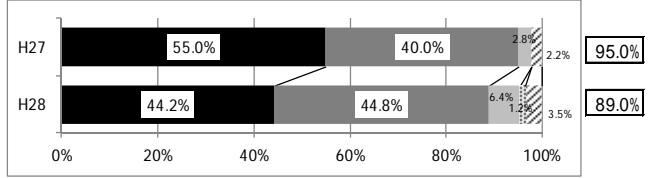
【小学校】

○学校評議員

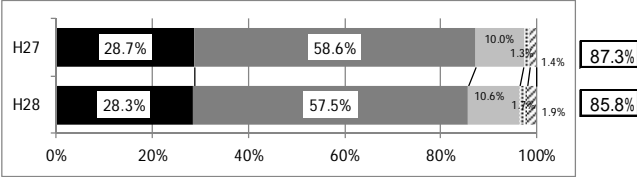


【中学校】

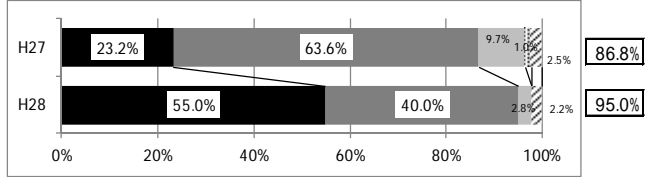
○学校評議員



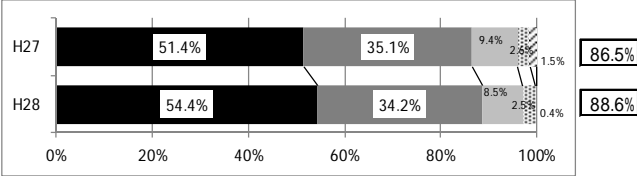
○保護者



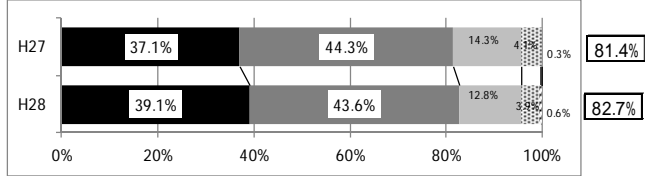
○保護者



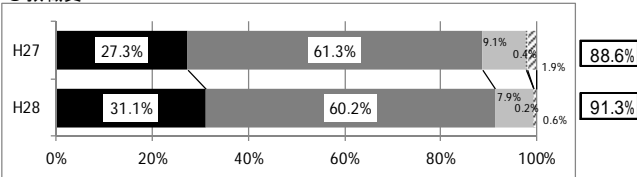
○児童



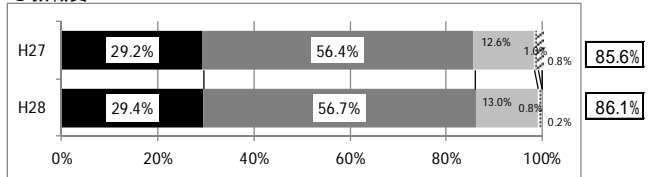
○生徒



○教職員



○教職員



〔分析〕

全体的に平成27年度から大幅な変化は見られないが、実際に学校を活用する機会の多い児童・生徒及び教職員の肯定的な回答の割合が高い。

しかし、老朽化が進んでいる現状は認識しており、今後も児童・生徒が安全で安心できる環境であることを実感できるよう、保護者や学校からの要望も含め、快適な学校生活を送るための学校施設の整備に努める。

## 学校規模の適正化と家庭・地域社会との連携強化

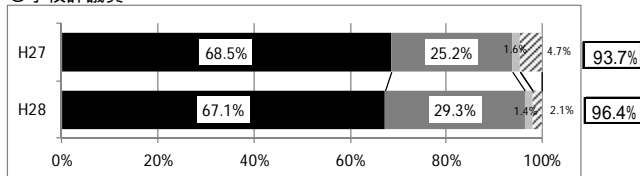
### 項目 1 3 教育方針・目標の理解 【指導課】

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

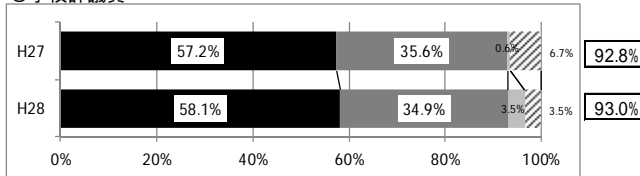
【小学校】

○学校評議員

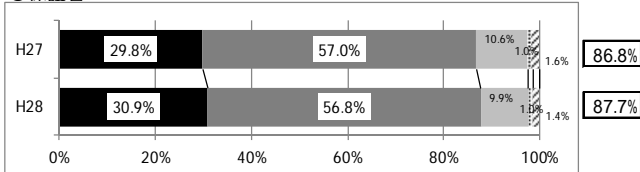


【中学校】

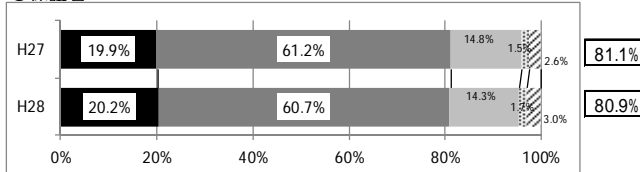
○学校評議員



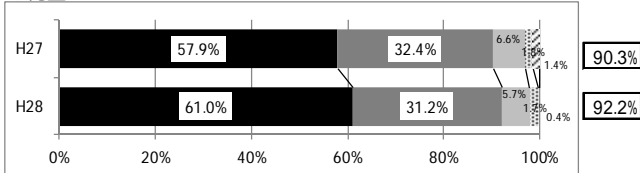
○保護者



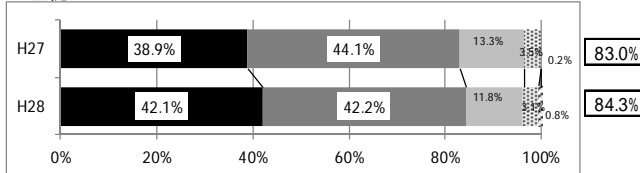
○保護者



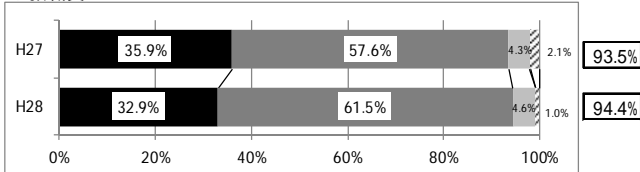
○児童



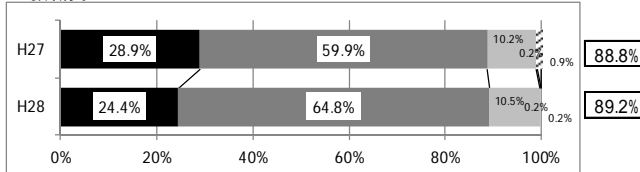
○生徒



○教職員



○教職員



〔分析〕

小学校、中学校ともに学校評議員、保護者、児童・生徒、教職員からの評価は、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合計すると80%以上となり、教育方針の理解は概ね良好と言える。

一方、「そう思う」の回答の割合は、平成27年度と比べると小学校の学校評議員・教職員・中学校教職員において下がっており、また、保護者・教職員に関しては、約30%かそれ以下である。

校長は、学校の教育目標や指導の重点項目等を分かりやすく且つ丁寧に、継続的に示していく必要がある。また、教職員も、各々の立場や校務から家庭や地域に積極的に発信していく必要がある。

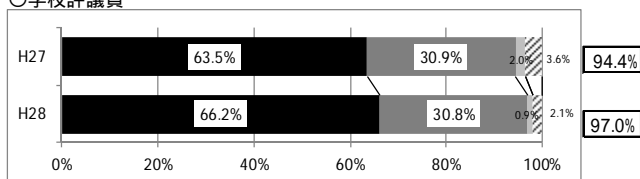


## 項目 1 4 家庭や地域との連携協力【学務課】

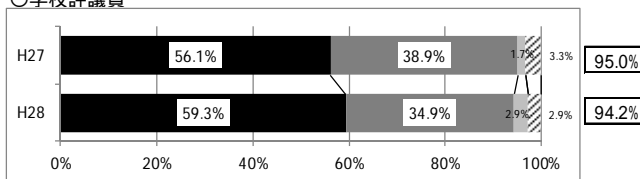
学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

■ 4- そう思う ■ 3- どちらかといえば、そう思う □ 2- どちらかといえば、そう思わない □ 1- そう思わない □ 無回答

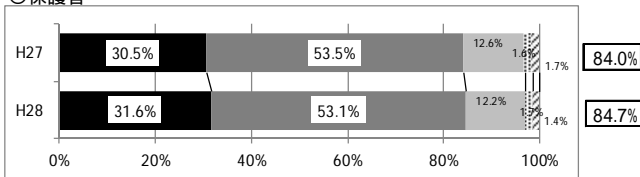
【小学校】  
○学校評議員



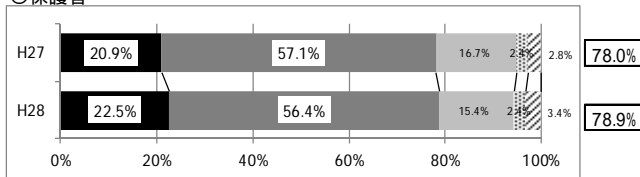
【中学校】  
○学校評議員



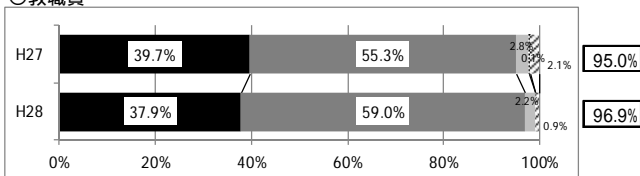
○保護者



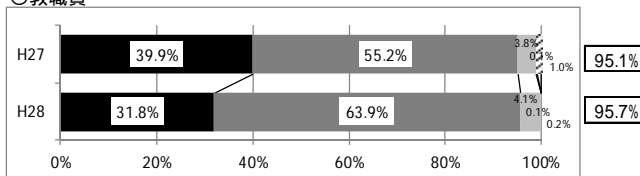
○保護者



○教職員



○教職員



〔分析〕

肯定的な回答の割合は、小学校における教職員が97%、保護者が85%、中学校における教職員が96%、保護者が79%となっており、学校と家庭や地域の連携協力ができていると感じている人が小学校、中学校ともに大半であることから、結果は十分に評価できる。

今後も、家庭や地域との連携協力をさらに進めるために、より一層の情報提供や学校支援ボランティアの活用等を図っていく必要がある。

### 3 幼稚園の結果及び分析

- 割合の表記は、100分の1%の値を四捨五入しているため、合計の値において±0.1%の誤差が生じる場合がある。
- 枠囲みの数字は、肯定的な回答(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」)の割合を合計したもの

#### (1) 徳・知・体の調和の取れた教育の推進 豊かな心をはぐくむ教育の推進

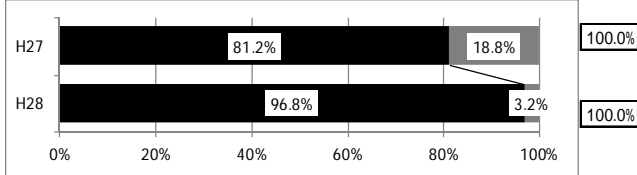
##### (幼)項目1 一人一人の園児の尊重 【人権教育指導室】

幼稚園は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。

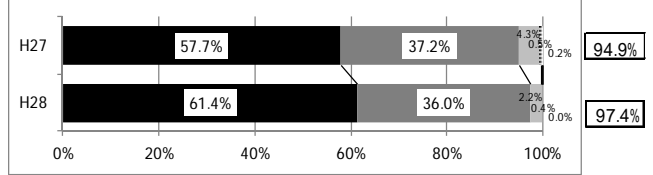
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

〔幼稚園〕

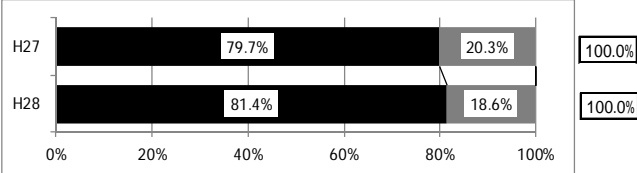
○学校評議員



○保護者



○教職員



〔分析〕

教職員及び学校評議員の肯定的な評価が100%であり、さらに4の評価の割合が上昇していることから、園全体で、子ども一人一人を大切にされた教育活動が推進されていることがうかがえる。保護者の肯定的な評価も高い。しかし、わずかではあるが否定的な評価もある。この状況を踏まえて、これまで以上に子どもや保護者の思いに寄り添い、園での取組等も発信しながら、お互いの信頼関係を強めていく必要がある。

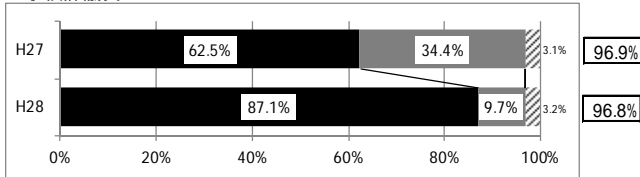
##### (幼)項目2 友達への思いやり 【人権教育指導室】

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

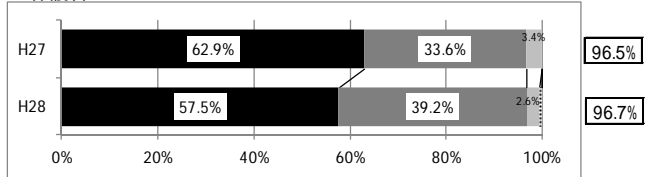
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

〔幼稚園〕

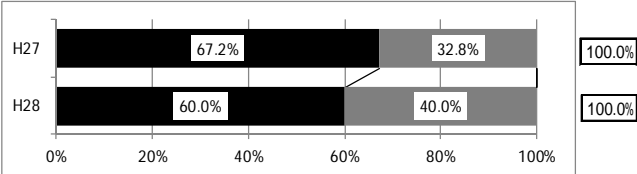
○学校評議員



○保護者



○教職員



〔分析〕

学校評議員の4の評価の割合は大幅に上昇しているが、教職員は7.2ポイント下降し、同様に保護者も5.4ポイント下降している。相手を大切にするには、子ども一人一人の自尊感情が高まることが大事である。そのために、一人一人に寄り添ったかかわりを大切にし、子どもたちを認め、ほめ、励ましなが、子どもたちが自分や相手の大切さを実感できるようにする。また、お互いの違いを理解し、大切にすることができるような取組を行い、保護者と連携して、子どもの育ちの支援体制を構築していく必要がある。

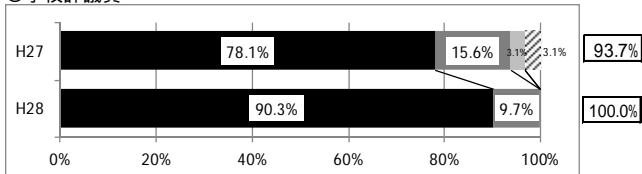
(幼) 項目3 道徳・心の教育の充実 【指導課】

幼稚園は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重, 思いやりなど)

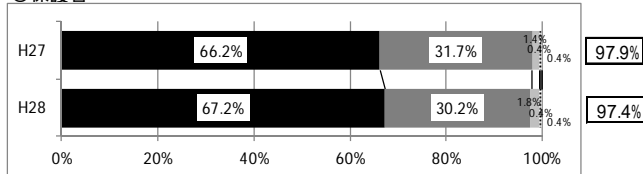
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

[幼稚園]

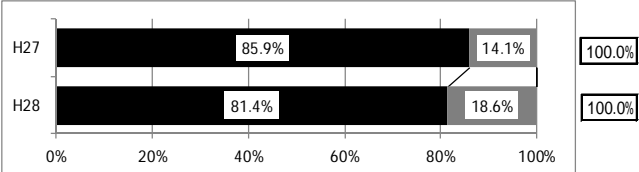
○学校評議員



○保護者



○教職員



[分析]

学校評議員、保護者及び教職員のいずれからも高い評価を得ている。学校評議員、教職員の肯定的な回答は、100%であり、学校評議員の回答においては昨年よりもかなり高い評価を得ていることから、幼稚園における心の教育について、教職員の努力に対して、一定の理解が得られているものと思われる。

学校評議員及び教職員に比べると、保護者の「そう思う」の割合が低いことから、保護者は、心の教育の充実をさらに求めていることがうかがえる。

幼稚園や家庭と一体となり、道徳性の芽生えを培う保育研究を深め、実践していく必要がある。

確かな学力を育む教育の推進

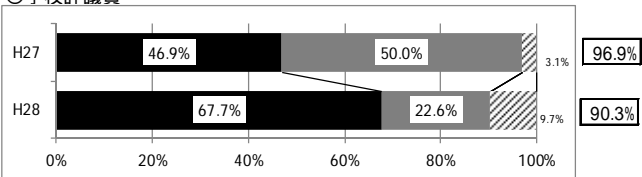
(幼) 項目4 意欲的な活動 【指導課】

子どもは、自分の思いを十分に出し意欲的に活動していると思いますか。

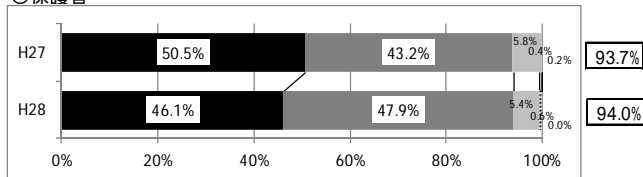
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

[幼稚園]

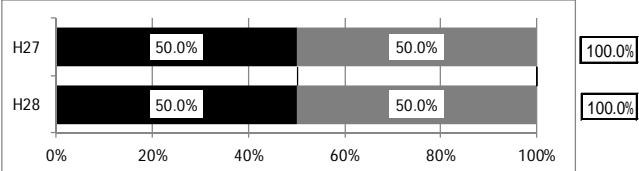
○学校評議員



○保護者



○教職員



[分析]

全体的に見ると学校評議員、保護者及び教職員のいずれからも高い評価を得ており、特に、学校評議員からの評価では「そう思う」の割合が前年度に比べ20%増えており、幼稚園の教職員の個に応じた環境づくりと支援の充実を図った成果が見え、地域の高い評価を得ていることがわかる。

それに対して保護者の「そう思う」の割合は50%を下回っており、今後は意欲的な活動をうながす保育の改善を図るとともに、幼稚園の取り組みをこれまで以上に保護者へ発信していく必要があると思われる。

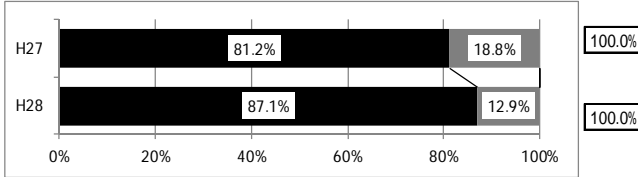
〔幼〕項目5 遊びや生活の充実 【指導課】

先生方は、子どもの遊びや生活の充実に努めていると思いますか。

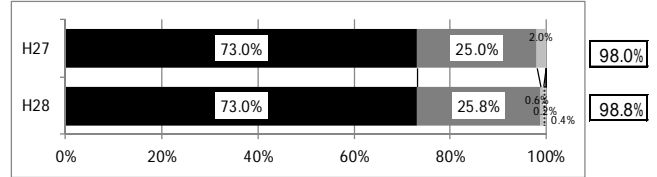
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

〔幼稚園〕

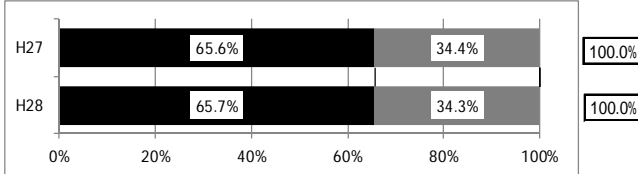
○学校評議員



○保護者



○教職員



〔分析〕

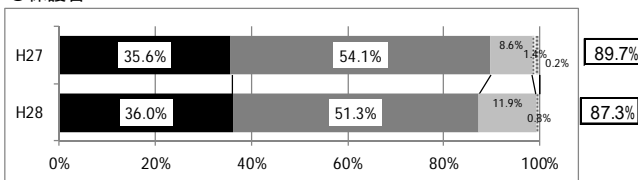
学校評議員、保護者および教職員のいずれからも、高い評価を得ている。特に学校評議員からの評価では「そう思う」が5%以上向上しており、充実した幼稚園生活を送ることができるような保育が前年以上に展開されていることがうかがえる。教職員に対して、学校評議員、保護者の「そう思う」の評価が高くなっていることから、客観的な信頼が高まっている。更に教職員の評価が高まるよう改善点を集約し、幼稚園における遊びや生活の充実にに向けた計画的・継続的な研修と実践が必要である。

健やかな体を育む教育の推進

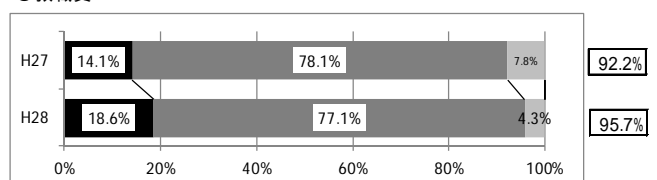
〔幼〕項目7 健康づくり 【健康教育課】

子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

○保護者



○教職員



〔分析〕

園児の望ましい生活習慣の状況について、「そう思う」と答えた方の割合は、保護者・教職員ともに増加傾向にあるものの「どちらかといえば、そう思う」「どちらかといえば、そう思わない」と答えた方の割合をみると、保護者と教職員の間には差があり、家庭と各園が連携を深めながら取り組みを進めていく必要がある。

(2) 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進  
いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

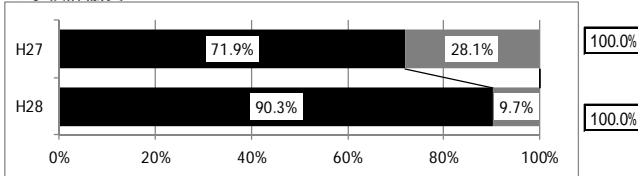
(幼)項目8 児童生徒理解 【総合支援課】

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。

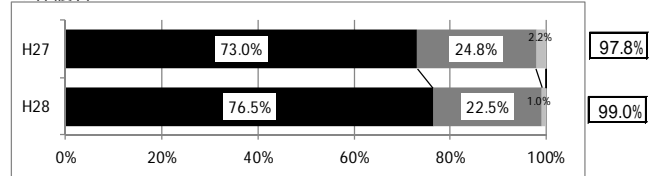
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない ▨ 1-そう思わない ☒ 無回答

〔幼稚園〕

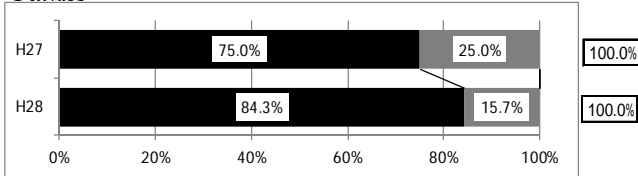
○学校評議員



○保護者



○教職員



〔分析〕

学校評議員、保護者及び教職員のいずれからも高い評価を得ている。教職員は幼児の理解に努め、その姿勢が、学校評議員と保護者に評価されているものと思われる。

教職員は、今後も引き続き、保護者との連携をさらに深め、幼児一人一人の理解に努め、子どものよさが生きる教育を展開することが必要である。

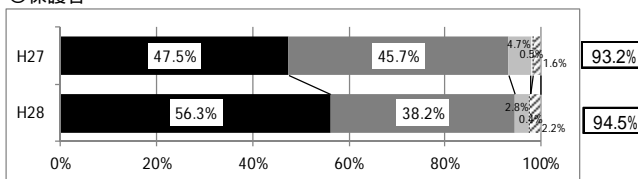
(幼)項目9 いじめや問題への対応 【総合支援課】

幼稚園では、いじめや問題があったとき、すぐに対応してくれていると思いますか。

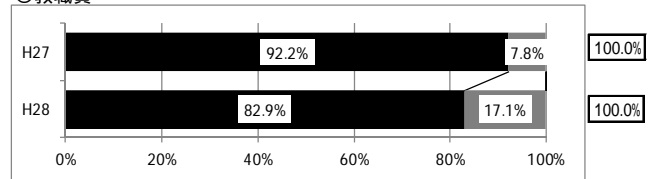
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない ▨ 1-そう思わない ☒ 無回答

〔幼稚園〕

○保護者



○教職員



〔分析〕

「そう思う」と回答をした保護者の割合は56.3%に対して、教職員の割合は82.9%であり、約30%の格差がある。このことから、幼稚園においては集団生活の中で幼児が人と関わる力を養うとともに、保護者がいつでも相談できる体制をさらに整えていくことが重要であり、幼稚園での取り組みを保護者や地域に積極的に情報を発信していく必要がある。

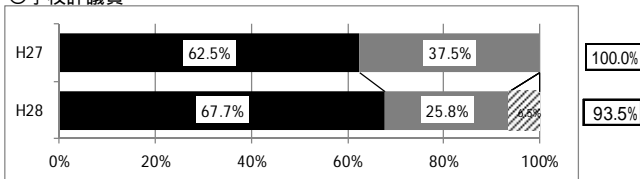
（幼）項目10 幼稚園の支援体制 【総合支援課】

幼稚園は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

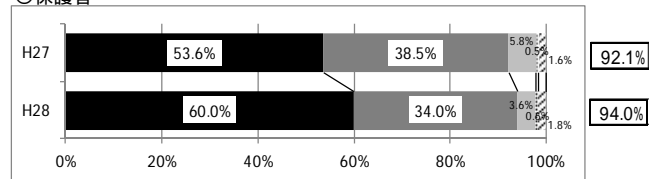
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

〔幼稚園〕

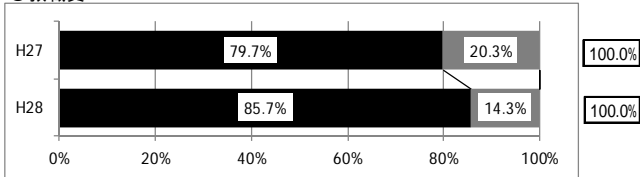
○学校評議員



○保護者



○教職員



〔分析〕

学校評議員、保護者及び教職員のいずれからも高い評価を得ている。教職員と保護者が共通理解を図りながら幼児の教育を進めていると捉えることができる。

さらなる充実に向け、園ごとに課題の分析・改善を図るとともに、今後、「支援を必要とする子どもの教育」に関する保護者への啓発、保護者が安心して相談できる体制の整備、支援を必要とする子どもへの適切な対応等、園全体で組織的に取り組んでいく必要がある。

（3）安全で良好な教育環境の整備

子どもたちの身近な安全対策の充実

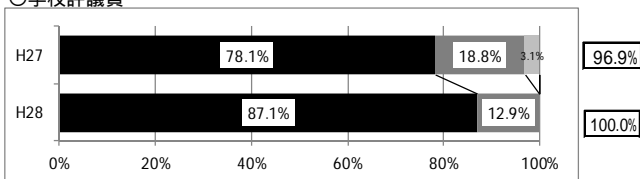
（幼）項目11 安全と事故防止 【健康教育課】

幼稚園は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

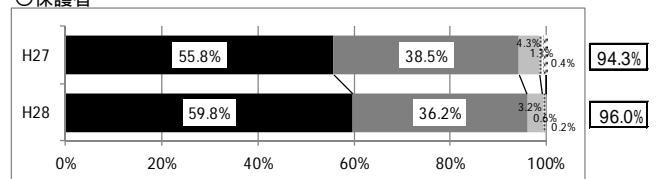
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

〔幼稚園〕

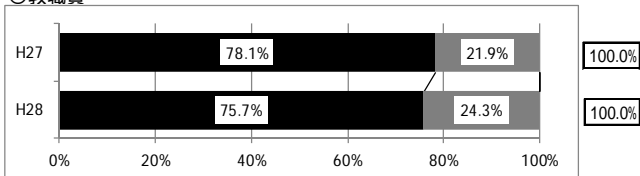
○学校評議員



○保護者



○教職員



〔分析〕

学校評議員、教職員、保護者とも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と答えた方の割合は高率で推移しており、各園での安全教育の取り組みが認知されていることが伺える。

園によっては、自転車による送迎の際、園児へのヘルメット着用を奨励するなど、保護者と一体となった安全教育の実施や保護者への奨励等を積極的に行っている。また、熊本地震を経験したことにより防災に対する意識も向上しているものと思われ、今後も継続して、発達段階に応じたより具体的な安全教育を実施し、その内容等についても積極的に保護者と共有し、連携していく。

## 最適な学習環境の整備

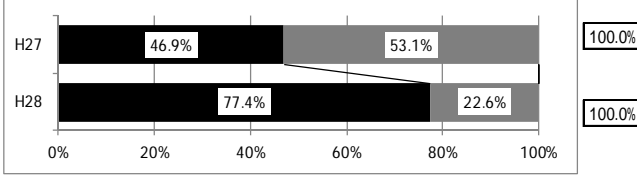
### (幼)項目12 施設・設備の安全管理 【施設課】

幼稚園の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

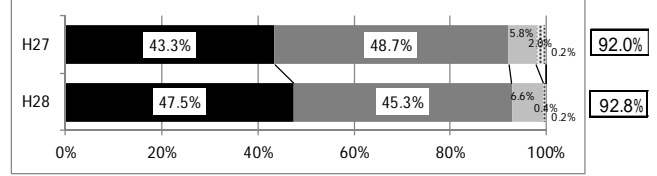
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない ▨ 1-そう思わない ☒ 無回答

〔幼稚園〕

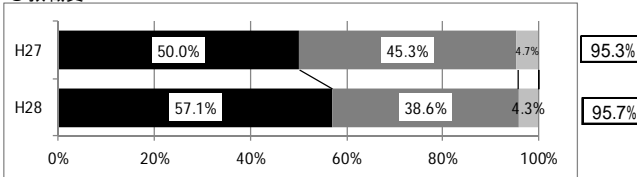
○学校評議員



○保護者



○教職員



〔分析〕

肯定的な回答の割合が高く、幼稚園の施設及び設備の整備について、一定の評価をいただいていると思われる。

しかし、老朽化が進んでいる現状は認識しており、今後も様々な要望を含め、園児が安全で快適な生活を送るため、より良い施設の整備に努める必要がある。

## 学校規模の適正化と家庭・地域社会との連携強化

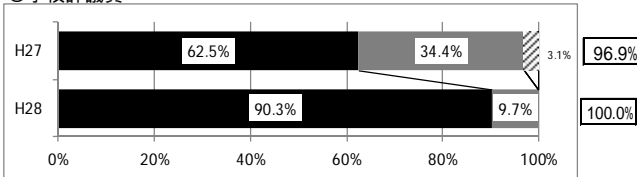
### (幼)項目13 教育方針・目標の理解 【指導課】

幼稚園は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。

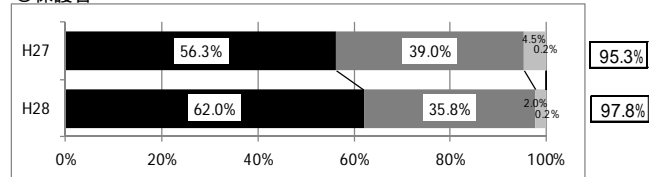
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない ▨ 1-そう思わない ☒ 無回答

〔幼稚園〕

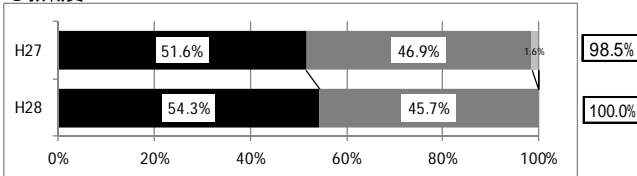
○学校評議員



○保護者



○教職員



〔分析〕

学校評議員、保護者及び教職員による肯定的な回答の割合が高く、教育方針や教育目標などについて一定の理解を得られていると思われる。

一方、「そう思う」と回答した割合は、学校評議員・保護者・教職員すべてで増えてはいるが、保護者・教職員に関しては、約60%かそれ以下である。

園長は、園の教育目標等を分かりやすく提示するとともに、保育など具体的な実践を継続的に家庭と地域に発信し、園の教育に対する理解を求めていくことが必要である。また、教職員も、各々の立場から家庭や地域に積極的に発信していく必要がある。

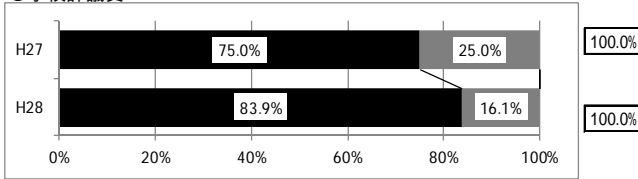
(幼)項目14 家庭や地域との連携協力【学務課】

幼稚園は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

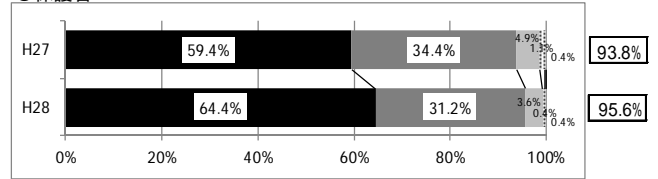
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

〔幼稚園〕

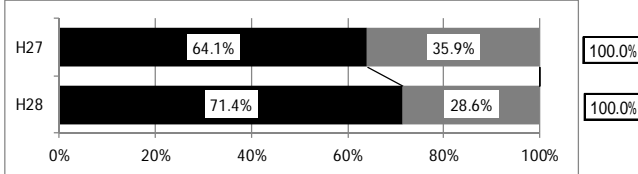
○学校評議員



○保護者



○教職員



〔分析〕

肯定的な回答の割合が、学校評議員と教職員で100%、保護者で95%を超える高い数値を示しており、幼稚園は、概ね、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると評価されていることが分かる。

今後も、この高い評価が継続するよう、幼稚園は、家庭と地域との連携協力をさらに進めていくことが大切である。